

予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名【新】持続的農業生産体制転換モデル実証事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農政課スマート農業推進係 電話番号：058-272-1111(内2809)

E-mail：c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 100,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

今般の肥料、燃料、飼料価格等の急激な高騰は、農業経営に大きな影響を与えている。こうした状況は今後も長期にわたり続くことが懸念されることから、持続的・安定的な経営に取り組むことのできるよう、肥料、燃料費等を削減や、自給飼料を生産拡大できる生産体制への転換を早急に図る必要がある。

(2) 事業内容

「持続的農業生産体制実証モデル農場」を設置し、スマート農業機器を活用した肥料、燃料等の使用量の削減等、コスト低減を図る技術実証を行う農業者に対して、それに必要な機器等の導入経費を助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：県 2 / 3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	100,000	持続的農業生産体制実証モデル農場設置に係る機器導入経費
合計	100,000	

決定額の考え方

肥料等削減のための実証事業は国が実施しているため、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019～2023年度）
- ・ぎふ農業・農村基本計画（2021～2025年度）
- ・岐阜県スマート農業推進計画（2019～2023年度）

(2) 国・他県の状況

令和4年4月26日原油価格・物価高騰等に関する関係閣僚会議において、総合緊急対策を取りまとめ農林水産業者や運輸・交通分野をはじめとする中小企業者等の支援を行うとしている。

(3) 後年度の財政負担

肥料、燃料、飼料価格等の高騰対策に係る事業については今年度のみ。

県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	持続的農業生産体制転換モデル実証事業費補助金
補助事業者 (団体)	市町村 (理由) 市町村等を中心に、地域の課題に対応したスマート農業技術の普及を円滑に進めるため。
補助事業の概要	(目的) スマート農業技術の効果を明らかにし、スマート農業技術の普及を加速化させることで、生産コスト低減等につなげる。 (内容) スマート農業技術の効果を明らかにする「持続的農業生産体制実証モデル農場」を設置する農業者に対して、農業機器等の導入を支援する。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 2/3以内 (理由) 原油価格・物価高騰に対する支援であり、機器導入が過度な経営負担にならないよう、また実証事業として成果データを求める事業としているため。
補助効果	スマート農業技術の効果を明らかにし、地域へ技術を普及することで足腰の強い生産体系への転換が図られる。
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) 燃料、肥料等の高騰対策として緊急に実施するものであるため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>スマート農業技術の肥料、燃料等の生産コスト削減効果を明らかにし、地域へその技術を普及することで本県農業の足腰の強い生産体制への転換が図られる。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
スマート農業技術導入経営体数	168	345	370	455	550	63%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	0	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	肥料、燃油等の高騰に対応していくためには、最先端のスマート農業技術を導入し、徹底した生産コスト低減等を図ることが重要であり、そのために、技術の効果を明らかにする必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業導入効果を把握するには、複数年にわたる経営分析が必用

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本事業による機器導入は本年度限りとするが、事業実施要領等により後年にわたり機器の導入効果を明らかにするとともに、地域への普及を図る。
--